

【作問意図】新しいものが作られるときには何かしらの理由があります。今回の記事では、①これまでの取組、②現状及び課題、③対策といった大まかな構成で説明されています。このような段落意識を踏まえて、文章を正確に読ませたいですね。

* 著作権法に基づき掲載は省略します。

文字がぎざまれた石って色々
なところにあるよね。



自然災害のニュースを
よく見るよね。



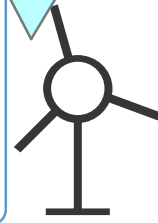
二〇一九年六月二十七日付 読売KODOMO新聞
(画像は国土地理院提供)

「風車」と「老人ホーム」平成18年に追加された地図記号です。「自然災害伝承碑」は13年ぶりに追加されました。

（突然ですが）地図記号クイズ！

○次の地図記号は、何を表しているでしょうか。予想しましょう。

扇風機せんぷうきに似ているね。



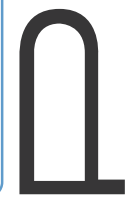
風車

家の中に、あるものは……？



老人ホーム

自然災害伝承碑しぜんさいがいがらんでんしゅうひと同じ？



記念碑

ポイント【イメージ】
文—イメージ
の対応の理解

「も」？

○記事に「災害が起きた場所には、文字を刻おんだ石碑『自然災害伝承碑』も建てられました」とありますが、人々は、石碑以外何を残のこしましたか。記事から探さがして書きましよう。

ポイント【係り受け】
文の構造の理解

・教訓きょうくんを子や孫まごに言い伝え、書物にも残のこした



理由をくわしくしよう

山梨県には自然災害伝承碑しぜんさいがいでんしゅうひがいくつあるでしょうか。



○なぜ、新しい地図記号を作ったと考えられますか。次の記事に当てはまるように書きましよう。

国土地理院は、「自然災害伝承碑」の地図記号を新たに作り、地図に載のせることので、

例）
地図を見たときに、自然災害があったことを知り、防災意識を高めることからだ

と書かえられます。

山梨に自然災害伝書碑は北杜市に2つあります。
・明治31年の釜無川洪水
・昭和34年台風7号による土石流災害

第1段落の最後の一文の「も」に着目しました。助詞の役割を踏まえて、文章の正確な理解につなげましよう。

【作問意図】文章だけでなく、図や表などの様々なテキストを併せて読む力が求められています。特に、新聞にはこのような複合的なテキストが多く存在します。何を説明するために、どのように関連付けているのかということ考えさせたいですね。

* 著作権法に基づき掲載は省略します。

表「ツバメの仲間 見分け方」の情報と画像の情報を結び付けて理解を図る設問です。



探しだそう！

○左の画像のツバメの種類を
ましよう。



コシアカツバメ

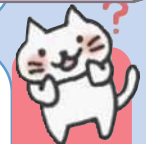


ツバメ



イワツバメ

ポイント【イメージ】
文-イメージ
の対応の理解



数字を入れよう

○次の□にあてはまる数字を
書きましよう。

3

月末ごろ

日本に来る

子育ては

3

週間くらい

6

月下旬に、

東南アジアに帰る

1回に

4

6

の卵を産む。

日本に長い間
いるんだね。

なぜ、そんじょ?

○なぜ、ツバメは人の家の近くに、巣を作るのですか。理由を書き
ましよう。

ツバメが人の家の近くに巣をつくるのは、
例) ・天敵に襲われない
・ヘビやカラス、タカなどのツバメの天敵は、人が住んで
いるそばには近寄らないため、人の家の近くに巣を作れ
ば天敵から遠ざけることができる
からです。

端的に「天敵に襲われないから」で正解ですが、
「なぜ天敵に襲われないのか？」と問い返して、児童に説明させましよう。

自然学分野の説明的文章では、多くの数字が扱われて
います。数字をチェックしながら読むなどの学習活
動も有効です。

ポイント【係り受け】
文-文
の照応の理解

【作問意図】今回は、「クリティカル・リーディング」の基礎となる設問を用意しました。文末表現に着目し、情報の「確かさ」について考えます。一見事実と思われる内容でも、よく読んでみると意外と曖昧にしてあることがあります。

* 著作権法に基づき掲載は省略します。

まだよく分かっていない
ことが多いんだね。



ものが二重に見えるって
どうしてだろう。



ポイント【推測】
文末表現から
「確かさ」の理解



はつきりしない表現

○次の「」の情報について、「確かさの度合」が「一番高い」と言っているのは、だれでしょう。○をつけましょう。

「ニヤンタがBさんに手紙を書いた」という話を聞いた。



「ニヤンタがBさんの消しゴムをひろってあげた」のを見た。



「ニヤンタはBさんのことを『Bちゃん』と呼ぶんです」。



「ニヤンタがBさんに思いをよせるといって可能性がある」。



文末表現に着目させて、情報の確かさを確認させましょう。また、このような文末表現を使わせることで、より正確な表現につながります。



確かなことかな？

○記事では、次の①～④を「確かなこと」としてとらえているでしょうか。「確かなこと」に○をつけましょう。

①急性内斜視は、子どもや老人に多い。

急性の内斜視

②アンケートに回答した人は、371人。

③スマホの使用をやめたら症状がよくなった患者さんは37人

患者さん

④内斜視の原因は、韓国の研究チームが科学的に証明した。

韓国

ポイント【同義文】
2文の意味
の理解



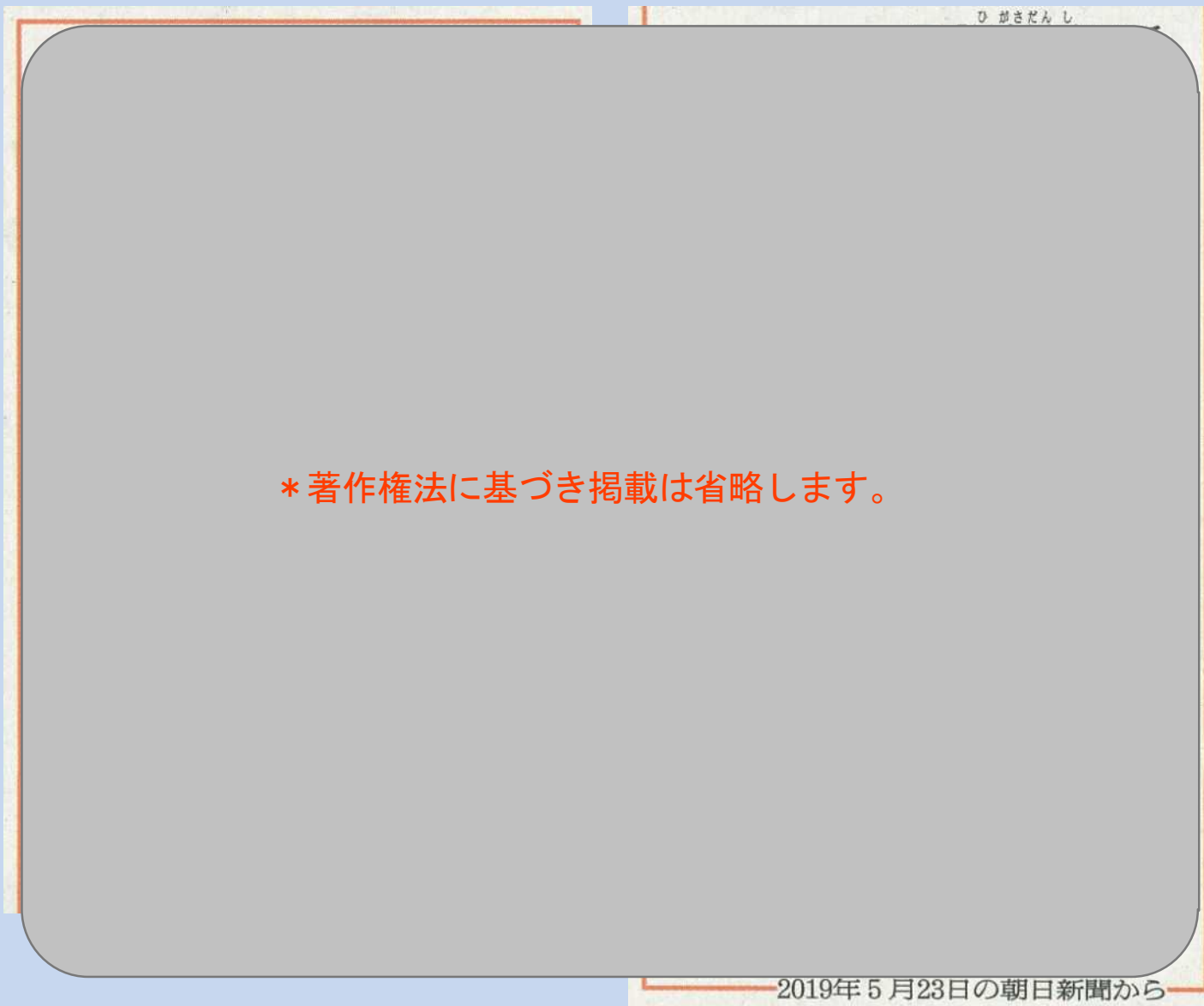
スマホをもったら……

○もし、スマートフォンを使うようになったら、どのようなことに気をつけようと思いますか。短く書いてください。(使っている人は、これから気をつけたいことを書いてください。)

例) 家族と相談した時間を守るように気をつける
寝るときには、スマートフォンは使わないように気をつける

- ①「～おそれがあります」→不安がある
- ③「～患者を診たそうです」→人から伝え聞いた話
- ④「～科学的に証明されていません」→未証明

【作問意図】 コラムは、筆者の日常的な体験や感想などを交えながら、筆者の考えが短くまとめられています。文章が短いため、段落の改行一字下げの代わりに「▼」など使われています。段落ごとに小見出しをつけるなどの学習活動も考えられます。



* 著作権法に基づき掲載は省略します。

熱中症に注意!



二〇一九年六月十五日付 朝日小学生新聞

2019年5月23日の朝日新聞から



(突然ですが)チャレンジタイム!

○記事の文章中に「日傘」という言葉は、何回出てくるでしょうか。1分間で読んで、数えましょい。用意はいいですか?では、スタート!

7



順番は?

○文章の内容の順序に合うように、イラストに番号をつけて、並びかえましょい。

ポイント【同義文】
文一文の意味の理解

4

夏にサッカーの試合をやめる動きもある。暑い夏だ。過去の考えにこだわってられないか。



1

江戸時代、武士や町人の男たちに白い日傘が流行したが、幕府は「節約」を理由に禁止した。



3

「日傘男子」という言葉も聞く。日傘をさしてみたら、すずしいけど、抵抗感があった。



2

日傘は女性のものでえられてきた。それ環境省が暑さ対策にもすすめて始めた。



二〇一九年六月二十二日付 朝日小学生新聞

このように、簡単な画像でイメージしたり、段落ごとに、短く要約してみるなどの学習活動が効果的です。



「暑さ」と付き合ったために

○あなたがしている暑さ対策を教えてください。

例) 定期的に水を飲む

外に出るときには、ぼうしをかぶります。



文章をある程度の速さで読むことができると読解力の向上に役立ちます。まずは、キーワードをさがすなどの学習活動から始めてみましょう。

【作問意図】文章量が多めの記事です。いつも楽しみながら見ているスポーツニュースも、違う角度から見ると新たな視点を
得ることができるきっかけになります。この記事を通して筆者が何を述べたいのか、考えさせたいですね。

* 著作権法に基づき掲載は省略します。



○みんなが共に生きていく社会にするために、あなたは何かで
る(したい)と考えますか。あなたの考えを書きましょう。

私は、みんなが共に生きていく社会にするために、

例) 人を見かけで判断しないようにする
相手の文化を理解するように心がける

ポイント【同義文】
文一文
の意味の理解

○次のア〜エの文を、記事と同じ順序に並べてみましょう。



ア 父が外国出身という選手が、活躍かつやくしている。

イ 陸上のサニブラウン選手の今後の活躍が楽しみだ。

ウ 日本は、みんなが共に生きていく新しい社会になる。

エ リオ五輪で、多様なルーツをもつ選手が活躍しはじめた。

段落に注目する
わかりやすいよ。



並べてみよう

ポイント【推測】
文脈から判断する

○見出しに「多様なルーツの選手」とありますが、「ルーツ」は、何の何を表しているのでしょうか。あなたの考えに一番近い意見を選び、○をつけましょう。



親の出身国や生活してきた国の文化のことだよ。

テニスやバスケットなどのスポーツの種目のことだよ。

血液型とか誕生日など占おしりいに必要な情報のことだよ。

選手のエネルギー源げんとなるスポーツドリンクのことだよ。



ルーツとは？

⑨「日傘」と同様の設問ですが、画像がない分、言葉を適切に捉える必要があります。キーワードを生かしながら、要約することも日常的に取り組みましょう。

「あなたの考え」を求めています。 「ルーツ」という言葉に、それぞれの意見を当てはめて読んでみると、適切な内容を見分けることができます。

【作問意図】新聞の特徴である「見出し」「リード」「本文」「図や表」などの要素が盛り込んである記事になります。記事内容は対話形式で解説が進められています。記述の設問では、記事内容全体を捉えて「自分の考え」を書く必要があります。

* 著作権法に基づき掲載は省略します。

3段目2行目「「レベル3」にあたり、子どもや高齢者は避難する必要がある。」から引用します。



早めの避難

洪水・土砂災害の警戒レベル		住民が取るべき行動
レベル分けされた主な情報		
低い	警戒レベル1 早期注意情報(気象庁)	災害への心がまえを高める
	警戒レベル2 洪水注意報、大雨注意報(気象庁)	避難に備え行動を確認する
	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始(自治体) 洪水警報、大雨警報、氾濫(川の水があふれ出すこと)警戒情報(気象庁)	①は避難
危険度	警戒レベル4 避難勧告、避難指示(自治体) 土砂災害警戒情報、氾濫危険情報(気象庁)	全員避難
高い	警戒レベル5 災害発生情報(自治体) 大雨特別警報(気象庁)	災害が発生、命を守ることを最優先した行動を

カッコの中は主な発表機関。内閣府の資料から



なぜ、避難所に行かないの？

○避難所を利用した人は「0.5%」とあります。なぜ、避難勧告がでてでも避難する人が少ないのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

避難所を利用する人が少ないのは、

例) 本来に避難する必要があるのでどこに避難してよいか分からない

からだと考えられます。

「レベル」について話している段落に注目するとわかりやすいよ。

○ ① に当てはまる言葉を記事から探して書きましょう。

子どもや高齢者

は避難

ポイント【係り受け】
文一文
の照応の理解

記事を読んで、文章全体から概要を把握する必要があります。把握した情報を踏まえて、「自分だったら」という考えが求められています。